

キャラクター名  
海棠 杏華(かいどうきょうか)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン オルクス		ワークス	高校生	カヴァー	新聞部副部長(部員3人)
オプション			年齢	17	性別	女の子
覚醒	犠牲	衝動	妄想	初期侵食率	30 %	
出自	疎まれた子	経験	裏切られた	邂逅	慕情	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	8
感覚	1	0	0	1		2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	3	0	0			3	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志	6	1	調達	3	
運転:			芸術:	2		知識:			情報:ギルド	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
魔物語解読機	
携帯	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	タス	消費
丸射 陽(まるいよう)Sロイス	P 慕情	N 恐怖			
戌羽 紅(いぬば こう)	P 幸福感	N 嫉妬			
モスウィング	P 好意	N 不安			
ノワール	P 尊敬	N 劣等感			
忍者	P 好奇心	N 不快感			
十代	P 尊敬	N 嫉妬			
	P	N			

最大財産P: 12    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
要の陣形	3	3	メジャー					
効果: 対象を3体に 回								
導きの華	4	2	メジャー					
効果: 達成値+Lv×2								
アドヴァイス	1	4	メジャー					
効果: C値-1、ダイス+Lv								
妖精の手	3	4	オート					
効果: 判定の一つを10にする 回								
勝利の女神	5	4	オート				100	
効果: 達成値に+Lv×3								
拡散する世界	1	10	オート				100	
効果: 対象の攻撃をシーン(選択)にする そのあとHP20失う								
ブリッククリーク	1	4d10	イニシア				120	
効果: 追加行動させる								
ドクタードリトル	1							
効果:								
写真記憶	1							
効果:								
猫の道	1							
効果:								
地獄耳	1							
効果:								
暗号解読	1							
効果:								
効果:								

昔から私は不思議な子と言われていた。珍しい花を見ていたと思っていたら周りからは「何かあるの?」と言われ、動物を見た!と言っても「それはきっと妖精さんだよ、よかったね」と信じてもらえなかった。  
 周りからは少し痛い子として見られていたらしい、そんなある日いつものように3姉弟で遅くまで遊んでいるときに、何かに呼ばれた気がして振り向いた、そこには今まで見たこともないほど美しい女神様のような人がいた、私はその人が手招いているのに意識を奪われたように近づいていってしまった。居眠り運転でスピード違反しているトラックが来ているのにも気づかずに……  
 背中に衝撃があり私は地面を2、3回転がった。それで我に振り返り返った、そこには、……ついさっきまで一緒に遊んでいた姉と弟が倒れていた。信じたくはなかったが、そこにはたしかに見覚えのある二人の姿があったんだ。多分弟は即死だっただろう、揺さぶっても意識が戻ることはなかった。  
 姉の方はまだ少し意識が残っていた、そして、「きょ……うか……だい……じょ……う……ぶだっ……た?け……がない?」と最後まで笑顔で私の事を心配してくれた。  
 私は泣きながら近くの電話から救急車を呼んだ。  
 救急車で運ばれるときの姉の顔は忘れられない私に笑いかけてくれた姉は涙ながらに「まだ、死にたくないよ……きょ……う華達と遊びたいよ」と言っていた。  
 姉はまもなく亡くなったと知らせが届いた。  
 私のせいで、私がトラックに気づかず道路に飛び出したから、だから二人は私の犠牲になったんだ。  
 それからと言うもの、ただでさえ挨拶もぎこちなかった近所の人達からは腫れ物を触るような目で見られ、それまで優しい親からは「お前みたいな疫病神がいなかったら、今ごろ二人は元気にいられたんだ、お前のせいだ!死ぬならお前一人だけ死ねばよかったんだ!」と暴力を振るうようになった。